

鴻巣市地域公共交通計画策定業務 業務実施計画書

1. 本業務の目的

本市は、コミュニティバス「フラワー号」を地域公共交通の中心と捉え、フラワー号の補完としてこのす乗合タクシー、デマンド交通「ひなちゃんタクシー」という2つの公共交通を運行している。しかしながら、人口減少・超高齢社会に対応しつつ将来にわたって持続可能な公共交通を実現するためには、地域における多様な輸送資源を最大限活用し、望ましい交通のあり方を検討する必要がある。

そこで、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）第5条に規定する地域公共交通計画として、令和9年度を初年度とした「鴻巣市地域公共交通計画」を策定するにあたり、本市の地域公共交通を取り巻く社会情勢や本市の抱える交通課題の整理、各地域における移動手段及び移動ニーズの把握などを実施し、本市の公共交通の将来像や目標達成に向けた具体的な施策を明文化するため、必要な支援を行うことを業務目的とする。

2. 委託期間

契約締結日から令和9年3月12日（金）まで

3. 業務対象範囲

鴻巣市全域

4. 計画期間

令和9年度から令和13年度まで

5. 業務内容

現場レベルから広域レベルまでを対象に、政策を考えるひと「交通行政の視点」・運行するひと「交通事業者の視点」・交通を使うひと「利用者」の意向を明らかにし、交通の改善・利用促進策、公共交通の最適化を考える基礎データとして活用する。

	ニーズ把握・分析のねらい	現場レベル	自治体レベル	市域を跨ぐ広域レベル	
「住民の暮らしの質の向上（QOL）」と地域振興の実現に向けて	データの視点 日常の人流や交通利用の実態をデータで分析し、顕在ニーズと潜在ニーズを明らかにする。	地域特性・社会動態の整理 地域輸送資源の現状分析 地域別カルテの作成			データの可視化・課題整理・事業検討・公共交通の最適化の検討へ
	自治体視点 上位・関連計画との整合を図り、事業やネットワークの考え方や連携ビジョンなど、首長や関連事業者の意向を明らかにする。		上位・関連計画等の整理、分析 関連事業者アンケート調査・分析 市政に関わるヒアリング調査（トップヒアリング・庁内関係部署ヒアリング等を想定）		
	事業者視点 日常の課題や乗客の潜在ニーズ、交通の最適化、まちづくりの変化に伴う考え方など、問題・改善・課題を明らかにする。		交通事業者アンケート調査・分析 システム事業者ヒアリング調査		
	利用者視点 日常的に利用している方、していない方の目線から、交通サービスの満足度・利便性・改善要望など、利用者の正直な声を把握する。		公共交通に関するニーズ調査・分析 高校生アンケート調査		

(1) 地域特性及び地域内の公共交通等に関する現状把握

① 地域特性・社会動態の整理

基礎的データの整理と GIS 活用による現況の可視化を行い、計画課題のエビデンスとして活用する。

	項目	調査内容
基礎的データ	人口・世帯数	・人口・地域別人口、年齢3区分、世帯数、将来人口、DID人口 ・人口密度、人口増減率、高齢化率
	交通利用特性	・通勤通学流動、代表交通手段及び端末交通手段構成 ・自動車登録台数、運転免許保有状況、免許返納状況 ・公共交通利用者数、各駅勢圏（町丁目別）の分析 ・バス停別利用者数
	施設立地・生活圏	・都市基盤整備状況、整備スケジュール ・生活利便施設立地と徒歩圏域、バス停からの距離
	活用資料	・国勢調査、市統計、住民基本台帳、第7次総合振興計画、総合戦略、国土強靱化地域計画、都市計画マスタープラン、立地適正化計画、KDDI Location Analyzer、BusGO データ 等

② 地域輸送資源の現状分析

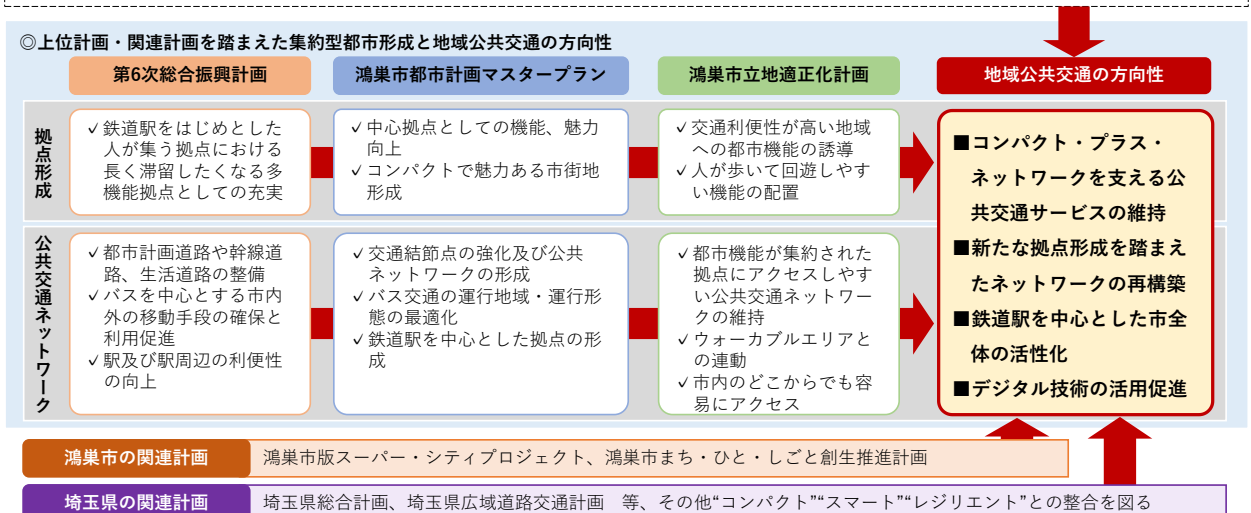
机上調査より地域輸送資源および外出支援サービス等の整理を行い、連携可能性の把握に向けた調査を提案する。

	項目	調査内容
	公共交通の運行状況	・鉄道、高速バス（運休中）、路線バス、一般タクシー、コミュニティバス「フラワー号」、このす乗合タクシー、デマンド交通「ひなちゃんタクシー」における運行ルート、運行本数、運賃、利用状況、運行収支・財政負担額、バリアフリー対応等
	公共交通以外の移動サービスの状況	・外出支援車、スクールバス、ゴルフ場等の民間無料送迎バス等の実態把握 ・運転免許証自主返納等の利用実績把握

③ 上位・関連計画等の整理、分析

市のまちづくり計画の目標達成に向けた、上位関連計画・事業と連携し、国の動向及び社会情勢を踏まえ、本計画の方向性を整理する。

国が示す地域公共交通の方向性「交通空白」の解消に向けた地域交通のり・デザインの全面展開」 「3つの共創と交通DX・GXの連携・協働」



④ 公共交通に関するニーズ調査・分析

地域別や属性別によるクロス集計を行い、計画課題のエビデンスとしての活用や評価指標への採用について検討する。

《市民アンケート調査の分析》

クロス集計の基本スタイルとしては、都市計画マスタープランの地域別構想で整理されている“5地域別”に準じて分析を行う。また、郵便番号の把握が可能であるため、市街化区域内外による分析についても検討する。

利用状況については、年齢ごとに傾向が異なることが予測されるため、設問に応じて年齢別クロスも実施する。



《地域公共交通利用者調査の分析》

コミュニティバス「フラワー号」、こうのす乗合タクシー、デマンド交通「ひなちゃんタクシー」の利用者を対象としたアンケート調査を実施しており、これらのモードごとに市民アンケート同様地域別および年齢別によるクロス集計を想定している。

また、市民アンケート調査と重複する設問が多く設定されているため、市民アンケート調査の補完データとしての活用や傾向比較による分析を行う。

⑤ 交通事業者アンケート調査・分析

経営上・運行上の問題点に加え、上尾道路の整備と「道の駅こうのす」の開業を見据えた構想について把握し、具体事業に反映する。

調査方法	事前にアンケートを送付し、回収後ヒアリングを想定
[鉄道] JR 東日本	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の特性や近年の推移状況 ・経営上、運行上の問題点 ・利用促進事業やイベント、観光施策の取組み ・駅利用者から寄せられている意見 ・路線バスやフラワー号との連携に関する意見・要望
[路線バス] 朝日自動車、川越観光自動車、東武バスウエスト	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の特性（路線別）や近年の推移状況 ・経営上の問題点（利用者数、赤字区間） ・運行上の問題点（人手不足、車両更新に向けた課題・意向） ・バス利用者等から寄せられている声 ・路線の再編に対する考え方、当面考えている利用促進策 ・上尾道路の整備と道の駅こうのすの開業を見据えた構想の有無 ・キャッシュレスやバスロケーションシステム等、デジタル技術の取入れ状況
[コミュニティバス「フラワー号」] 委託業者（朝日自動車、ロイヤル交通）	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の特性（路線別）や近年の推移状況 ・運行上の問題点（人手不足、車両更新に向けた課題・意向） ・バス利用者等から寄せられている声 ・改善が必要なコースやダイヤ ・上尾道路の整備と道の駅こうのすの開業を見据えた構想の有無

[タクシー・乗合タクシー]
長谷川タクシー、東洋
タクシー、遠忠屋タク
シー、熊通タクシー、
熊谷構内タクシー

《一般タクシー、このす乗合タクシー、デマンド「交通ひなち
ゃんタクシー」別に調査》

- ・利用者の特性、運行状況、保有台数
- ・経営上の問題点（利用者数、料金設定 等）
- ・運行上の問題点（人手不足、車両更新に向けた課題・意向）
- ・タクシー利用者の要望、意見

⑥ 関連事業者アンケート調査

交通事業者以外の移動サービスの把握と、他分野との連携の視点から関連事業者ア
ンケート調査を実施し、協働の可能性を検討する。

調査方法	・事前に調査票を送付し、必要に応じて後日ヒアリング
対象者	・医療施設、商業施設、社会福祉協議会、観光協会、企業送迎実施社、ゴルフ場 等
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・無料送迎等の施設利用者のサービス向上に向けた取組み状況 ・観光や商業などまちづくりを取り巻く現状、問題点 ・子育て支援、高齢者等移動支援サービスの実態 ・買い物支援、移動販売等の実態・拡大の可能性 ・公共交通と協力・連携した取組みや事業の可能性 ・企業送迎、施設送迎バスとの連携の可能性 等

⑦ 高校生アンケート調査

“若年層の声”の充実と、地域公共交通の浸透度を把握するため高校生アンケート調
査を実施し、若年層向けのアプローチ策を検討する。

調査方法	・学校協力のもと、紙面もしくは Web にて調査を実施
対象者	・鴻巣高等学校、鴻巣女子高等学校、吹上秋桜高等学校 1 学年を対象
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・通学時の移動手段と公共交通の利用状況、家族送迎の負担状況、待合空間の充実度 ・鴻巣市の公共交通に対する認知度および満足度 ・公共交通を利用するようになったきっかけ、公共交通を利用しない理由 ・公共交通の利用する際に困ることの有無 等

⑧ 市政に関わるヒアリング調査（トップヒアリング又は庁内ヒアリング等を想定）

市全体に関わる主要課題に対する公共交通に求めていることや、今後のまちづくり
で力を入れる取り組みなどを把握するため、市政に関わるヒアリングを実施し、将来
ネットワークイメージや具体事業を構築する。

調査方法	・直接ヒアリング、各課へメール送信・回収（必要に応じてヒアリング）
対象者	・鴻巣市長、総合政策課、ICT 推進課、こども応援課、子育て支援課、福祉課、障がい福祉課、介護保険課、道の駅整備プロジェクト、都市計画課、道路課 等
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・第 7 次鴻巣市総合振興計画における重要課題とトピック施策 ・公共交通に求めることと、デジタルの活用意向について ・鴻巣市版スーパー・シティプロジェクトとの連動性について ・他分野の視点からみた地域公共交通に関する課題 等

⑨ システム事業者ヒアリング調査

AI オンデマンドに関するコスト面や運用面を把握するため、システム事業者ヒアリングを実施し、鴻巣市に適した最適なシステムを選択するための材料とする。

調査方法	・事前に調査票を送付し、必要に応じて後日ヒアリング
対象者	・AI オンデマンド交通システムを提供している企業5社程度
調査項目	・システムの構築及び導入に係るイニシャルコストとランニングコスト ・鴻巣市と同規模自治体における導入実績 ・運転手講習や市民説明会等のサポート面 ・月次レポートの策定やダッシュボードによるグラフ化の有無 ・パッケージ化されているサービス内容とオプションサービスの内容 ・企業の強みと弱み 等

(2) 地域公共交通の役割と課題の整理

各交通モードの調査結果を地域別に一元化した「地域別カルテ」を作成し、人口等の特性が異なる各地域の実情に則した課題を抽出する。

また、高齢者独居世帯の多いエリアの把握を GIS 分析にて行い、各種調査結果と照らし合わせながら交通不便地区を可視化する。

(3) 地域公共交通に係る基本方針と目標の検討

現在策定中の「第7次鴻巣市総合振興計画」や市政に関わるヒアリング調査を踏まえながら、広域性（マクロの視点）や地域性（ミクロの視点）に留意しつつ、基本的な方針と、公共交通が果たす役割・機能を明確化による効果的かつ効率的なネットワークを検討し、基本方針と計画目標を設定する。

また地域公共交通は、「市民の暮らしを守る」「ウェルビーイングなまち」を図るための一つ的手段として認識しており、公共交通を再構築していく過程で地域が抱える問題の解消につながるものでなければならぬと考えている。そのため、公共交通を残すことを目的化せずに、まちや地域を今後どうしていきたいか、またその実現に資する利便性と持続可能性の高い交通のあり方を検討する。

(4) 目標達成のための実施事業の検討支援

網羅的ではない戦略的な事業構築と、上位・関連計画と整合を図った数値目標を定め、計画の評価・管理方法を設定する。

《実施事業の検討》

本計画期間は5年間という短期的な計画となるため、各種調査より設定した公共交通の方向性と課題に基づき、この5年間で重点的に取り組むトピック事業を設定することが大事になるため、網羅的にすべてを事業に位置付けるのではなく、10年後・20年後のロードマップを描き、短期的に取り組むべき戦略事業を位置付ける。

≪ 数値目標の設定 ≫

数値目標は、国の手引きで必須指標である利用者数、収支率、公共交通への公的資金投入額に加え、現在策定中の「第7次鴻巣市総合振興計画」や「立地適正化計画」等の上位・関連計画で掲げられる公共交通関連の目標値と整合を図りながら検討する。

≪ 計画の評価方法の検証 ≫

PDCA サイクルによる評価・検証を行うために、定めた目標値の評価方法や各年度実施する調査等も明記する。

公共交通に関係する市民・交通事業者・事務局、それぞれの役割を明記した上で、共通認識を持ち、一丸となって取組む構図とする。

(5) まちづくりの変化に対する検討

利用者側の視点と事業者側の視点から、各公共交通の機能分担を捉えたうえでまちづくりの変化に対応すべき検討事項を整理する。

(6) 鴻巣市地域公共交通計画（原案）の作成

地域公共交通計画書および計画書概要版の作成にあたっては、住民や事業者、行政が協働し、地域公共交通の方向性や実施事業、役割分担等を理解し、実践することが重要であるため、デザイン性がある表紙（イラストや基本構想等）や、データや現地写真の活用、先進事例の紹介等わかりやすさや、取組み内容の理解しやすさ等に留意した構成とする。

6. 業務工程表

業務開始から計画書作成のアウトプットを事前にイメージ・共有するとともに、仮説検証型にて業務を遂行し、鴻巣市地域公共交通会議での協議を踏まえながら、効率的な調査の実施、目指すべき方向性の整合を図り、『第7次鴻巣市総合振興計画の将来都市像』の実現に向けた施策立案を行い、実施につなげる。

また、事務局とのコミュニケーションを大事に、交通会議における各回の議題を想定しながら、逆算した業務遂行を行う。

業務内容	令和7年度				令和8年度											
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 地域特性及び地域内の公共交通等に関する現状把握																
①地域特性・社会動態の整理	データ整理・GIS分析										データの更新					
②地域輸送資源の現状分析	運行状況、利用実績等の整理										データの更新					
③上位・関連計画等の整理、分析	総合計画・都市計画マスタープラン・立地適正化計画の整理										データの更新					
④公共交通に関するニーズ調査・分析		入力・分析														
⑤交通事業者アンケート調査分析	設計・調査票・依頼文作成				実施・入力		必要に応じてヒアリング									
⑥関係事業者アンケート調査	設計・調査票・依頼文作成				実施・入力											
⑦高校生アンケート調査					設計・調査票・依頼文作成		実施・入力		必要に応じてヒアリング							
⑧市政に関わるヒアリング調査（トップ・庁内関係部署）					内容構築・設計・調査票作成		実施・入力		必要に応じてヒアリング							
⑨システム事業者ヒアリング調査					設計・調査票・依頼文作成		実施・入力									
(2) 地域公共交通の役割と課題の整理																
(3) 地域公共交通に係る基本方針と目標の検討																
(4) 目標達成のための実施事業の検討																
(5) まちづくりの変化に対する検討																
(6) 鴻巣市地域公共交通計画（原案）の作成																
(7) パブリックコメントの実施																
(8) 鴻巣市地域公共交通会議の開催					①		②		③			④		⑤		